

## 子どもの可能性は計り知れない

こんにちは。ホンジュラス・ Cholteca の土井です。3年生は受検お疲れ様。卒業まで間もなくですね。体調に気をつけて。人生最後の中学校生活を楽しんでね。

土井先生の今週の予定は最終報告会とお別れ会です。最終報告会とは Cholteca 県と市の教育委員会、JICA 関係者とお世話になった学校の校長先生を始めとする先生たちに対して、この2年間の活動を振り返り、成果と今後のビジョンについてプレゼンします。それほど緊張はしてないけど、途中で原稿が飛ばないかなと心配。この週末にしっかり準備して本番に臨みます。あと荷造りも・・・。

子ども達とのお別れ会は何をしようか迷いました。多くの隊員は折り紙やソーラン節などをプレゼントするのですが、あいにく土井先生はどちらも苦手。そこで、僕が決めた出し物は歌。それも僕だけが歌ってもつまらないので、即席歌唱部を結成しました。メンバーは4～6年生、各教室から先生に選んでもらった5～7人の代表選手たちです。中休みのあとに30分限定で練習しています。ここはピアノも音楽室ありませんが、幸いインターネットにつながるため、動画サイトを活用しての歌と伴奏が頼りです。

発声練習はピアノアプリを活用。iPad とポータブルスピーカーをもってきて大正解。それでも音楽室がないので、音を響かせる場所を探すのに苦労しました。音楽の授業がないので、歌唱する機会がない子ども達。決めた曲は午前クラスの子も達が「この星に生まれて」、午後クラスの子も達が「ビリーブ」を斉唱で歌います。日本語そのままでは読めないで、スペイン語読みを直したアルファベットをふっています。これなら、曲調を覚えれば歌えるかな、と。日本語を話せない子ども達が「いま～未来の扉を～♪」と歌っていることにとっても新鮮さを感じます。卒業式に向けてみなさんも彼らに負けなように有終の美を飾って下さいね。

音楽室がないので、学校入り口の廊下を活用  
左に貼ってあるのがスペイン語読みを直した歌詞

この小学校ではコンピュータ室があったため、  
そこを活用させていただきました

